	J.POSH奨学金まなび
種類	**給付型**：月額1万円（年額12万円） **支給期間**：高等学校等を卒業するまでの最短修業年限の終期までを最長期間とする（但し、年度ごとに再選選）
募集期間	2024年4月1日～5月末日（応募書類必着）
対象生徒	2024年4月1日時点で在学している生徒
応募資格	次の①～③全てに該当すること ①本人の母親、保護者を乳がんで亡くしている、または本人の母親、保護者が現在乳がんで治療中（投薬や経過観察などの定期的な通院含む） ②経済的な理由により修学またはその継続が困難な生徒 ※収入目安：世帯年収400万円（額面）未満 ③給付開始時に在学する生徒（当年入学者含む）
申請方法	申請書類をホームページからダウンロードもしくは事務室で受け取る ご自身で認定NPO法人 J.POSH事務局へ提出 URL：https://www.j-posh.com
提出書類	①奨学金給付申請書（指定申請書をダウンロードして使用） ②前年の成績証明書（新1年の場合は不要） ※通知簿・成績表のコピーは不可 ③新学年の在学証明書 ※生徒手帳のコピーは不可 ④保護者（父・母など）全員の収入証明証（下記のいずれか） ●源泉徴収票、または確定申告書のコピー → 2023年度のもの ●市町村の発行する所得証明等など → 取得できる最近のもの 収入がない方も証明が必要。（市町村の発行する所得証明書・所得（非）課税証明書など） 未成年、修学中（大学・専門学校など）の兄弟姉妹の所得証明は不要。 ≪生活保護受給中の方は保護決定（変更）通知書（最近のもの、コピー可）と所得（非）課税証明書を提出≫
他の奨学金との併用	他奨学金との併用可
備考	募集人数は年間75名（継続生を含む）

	川西市大学等進学支援金制度
種類	**給付型**：入学金の実負担額を給付(1人1回限り) 詳しくは別紙1を参照
募集期間	進学後(令和6年4月1日以降）に川西市教育委員会事務局　教育総務課に申請
応募資格	次の①～④全てに該当すること ①**高等教育の修学支援新制度(日本学生支援機構の給付型奨学金・授業料減免制度)**により**第Ⅱ区分又は第Ⅲ区分**で採用され、入学金が減免される方 ②高等教育の修学支援新制度の対象となっている大学等に入学された方 ③**入学時に保護者が市内に住所を有しており、**学資に乏しい方（大学等の夜間において授業を行う学部に入学した方については、本人のみが市内に住所を有する場合を含みます。）。 ④大学等が実施する他の減免等により**入学金の全額免除を受けていない方**
対象生徒	令和6年4月に大学（大学院除く）、短期大学、高等専門学校（第1学年から第3学年を除く）専修学校（専門課程に限る）に進学する生徒
申請方法	申請書類をホームページからダウンロードしご自身で川西市教育委員会事務局教育総務課に提出
提出書類	①川西市大学等進学支援金給付申請書 ②高等教育の修学支援新制度により、入学金が減免されることを確認できる書類 ③高等教育の修学支援新制度により、第Ⅱ区分又は第Ⅲ区分で採用されていることが確認できる書類（②の書類で確認できる場合は不要） ④減免前の入学金（入学料）の額が確認できる書類 ⑤他の減免制度により入学金の一部免除を受けている場合（受ける見込みである場合を含む。）は、その内容及び額が確認できる書類 ※②、③の書類により、④、⑤の内容が確認できる場合は提出不要 ※入学金（入学料）の額が確認できる書類については、パンフレット等の写しも可能だが、大学等が確認できる箇所（表紙等）も併せて提出
他の奨学金との併用	入学金の給付以外の奨学金については併用可能
備考	①高等教育の修学支援新制度への申請と在学校での入学金減免手続きが必要 ②募集人数の定員は特になし

別紙1

川西市大学等進学支援金制度

経済的な理由で大学等への進学を断念することのないよう、進学支援金の給付します。

◆対象となる方

次のすべての要件を満たしている方

① 高等教育の修学支援新制度により第Ⅱ区分又は第Ⅲ区分で採用され、入学金が減免される方。
② 高等教育の修学支援新制度の対象となっている大学等に入学された方。
③ 入学時に保護者が市内に住所を有しており、学資に乏しい方（大学等の夜間において授業を行う学部に入学した方については、本人のみが市内に住所を有する場合を含みます。）。
④ 大学等が実施する他の減免等により入学金の全額免除を受けていない方。

高等教育の修学支援新制度への申請と在学校での入学金減免手続きが必要です。

制度内容や申請方法等につきましては、日本学生支援機構もしくは在学校へお問合せください。

※高等教育の修学支援新制度とは、令和２年４月から実施されている制度です。日本学生支援機構による給付型奨学金制度が拡充され、あわせて授業料・入学金も減免（免除 or 減免）されます。

修学支援新制度特設ページ

◆対象学校

高等教育の修学支援新制度の対象となっている次の学校種別の学校が対象です。

- 大学（大学院除く）
- 短期大学
- 高等専門学校（第１学年から第３学年を除く）
- 専修学校（専門課程に限る）

◆申請書類

① 川西市大学等進学支援金給付申請書
② 高等教育の修学支援新制度により、入学金が減免されることを確認できる書類
③ 高等教育の修学支援新制度により、第Ⅱ区分又は第Ⅲ区分で採用されていることが確認できる書類（②の書類で確認できる場合は不要）
④ 減免前の入学金（入学料）の額が確認できる書類
⑤ 他の減免制度により入学金の一部免除を受けている場合（受ける見込みである場合を含む。）は、その内容及び額が確認できる書類
※ ②、③の書類により、④、⑤の内容が確認できる場合は提出不要です。
※ 入学金（入学料）の額が確認できる書類については、パンフレット等の写しで構いませんが、大学等が確認できる箇所（表紙等）も併せて提出してください。

◆（参考）給付額・・・令和５年度時点の額となります。

下表の額を上限に、入学金の実負担額を給付します（１人１回限り）。

※実負担額とは、大学等への入学金から川西市から給付する進学支援金以外の減免制度（高等教育の修学支援新制度等）の減免額を控除した額のことをいいます。

●給付額（上限）

学校		修学支援新制度の採用区分	昼間制	夜間制
国公立	大学	第Ⅱ区分	94,000円	47,000円
		第Ⅲ区分	188,000円	94,000円
	短期大学	第Ⅱ区分	56,400円	28,200円
		第Ⅲ区分	112,800円	56,400円
	高等専門学校	第Ⅱ区分	28,200円	
		第Ⅲ区分	56,400円	
	専修学校	第Ⅱ区分	23,300円	11,600円
		第Ⅲ区分	46,600円	23,300円
私立	大学	第Ⅱ区分	86,600円	46,600円
		第Ⅲ区分	173,300円	93,300円
	短期大学	第Ⅱ区分	83,300円	56,600円
		第Ⅲ区分	166,600円	113,300円
	高等専門学校	第Ⅱ区分	43,300円	
		第Ⅲ区分	86,600円	
	専修学校	第Ⅱ区分	53,300円	46,600円
		第Ⅲ区分	106,600円	93,300円

例１：私立大学（昼間制）に入学し、入学金が25万円の場合（第Ⅱ区分）

250,000円（入学金）－173,400円（国からの減免額）＝76,600円（実負担額）・・・①

私立大学第Ⅱ区分の給付上限額は86,600円ですが、実負担額（上記①）が86,600円以下となるため、**市からの給付額は実負担額である76,600円**となります。

例２：私立大学（昼間制）に入学し、入学金が30万円の場合（第Ⅱ区分）

300,000円（入学金）－173,400円（国からの減免額）＝126,600円（実負担額）・・・①

実負担額（上記①）が私立大学第Ⅱ区分の給付上限額である86,600円以上のため、**市からの給付額は上限額である86,600円**となります。

◆問合せ先

●川西市大学等進学支援金制度について

〒６６６－８５０１　川西市中央町１２番１号

川西市教育委員会事務局　教育総務課　　ＴＥＬ：０７２－７４０－１２５６

●高等教育の修学支援新制度について

日本学生支援機構　　ＴＥＬ：０５７０－６６６－３０１

	本庄国際奨学財団
種類	**給付型**：月額5万円 **支給期間**：高校2年から卒業までと、大学に進学した場合は大学卒業まで
募集期間	校内締切り2024年3月1日（金）
応募資格	次の①～③全てに該当すること ①原則として日本の国公立大学（短大は除く）に進学を希望していること ②1学年の通年成績が評定平均値4.0/5.0以上あること ③家庭の経済状況または本人の生活状況が下記のいずれかに該当すること (1)　主な家計支持者（父母、又は父母に代わって家計を支える人）が給与所得者の場合、1年間の収入（税金等控除前の金額）が600万円以下である (2)　主な家計支持者が個人事業主の場合、1年間の所得が250万円以下である (3)　社会的養護が必要な人（児童養護施設入所中や里親家庭等）
対象生徒	現在、1年生の生徒
申請方法	提出書類をホームページからダウンロードもしくは事務室で受け取り事務室に提出　URL：https://www.hisf.or.jp/scholarship/high-school/
提出書類	①奨学金申請書 ②身上書 ③作文：テーマ「大学または専攻科（高専）で勉強したいこと」または「将来の夢」（400字詰め原稿用紙2枚以内　※手書き） ④本人をよく知る方の推薦書（家族等以外の方の推薦書　推薦者の例：担任の先生） ⑤経済状況を証明する書類 1）主な家計支持者が給与所得者の場合、直近の源泉徴収票（雇主が発行）及び課税証明書（市区町村が発行） 2）主な家計支持者が個人事業主である場合、直近の確定申告書の写し 3）社会的養護を受けている場合、社会的養護の状況がわかるもの 施設在籍証明書、児童（里親）委託証明書、住民票、戸籍謄本など ⑥学校内外の活動実績を証明する書類（ある方のみ） ※学校内外の活動の取組みに対して社会的または客観的に評価を得ていること、語学やコンピューター技術等の資格取得など、小中学校を含めて申請者が達成したことについて証明できるもの
他の奨学金との併用	他奨学金との併用可
備考	募集人数は15名

	読売育英奨学会
種類	**給付型** 新聞販売店で働きながら、給料と奨学金を両方もらえる制度となっています。 ※コースは地区によって決まっていることがあり、奨学金や給与・業務内容も 変わります。 ※下記の給与から所得税、住民税、部屋代自己負担分などの控除があります。 ※休日は4週を通じて4日間 **Aコース** 朝刊・夕刊の配達、付随業務を合わせて1日5時間未満＋集金業務 給与約141,856円～＋奨学金月額80,000円＋特別奨学金年2回 **Bコース** 朝刊・夕刊の配達、付随業務を合わせて1日5時間未満 給与約141,856円～＋奨学金月額70,000円＋特別奨学金年2回 **Cコース** 朝刊の配達、付随業務を合わせて1日3時間程度＋集金業務 給与約90,272円～＋奨学金月額56,000円＋特別奨学金年2回 **Dコース** 朝刊の配達（2時間30分程度） 給与約80,600円～＋奨学金月額35,000円＋特別奨学金年2回
募集期間	**定員になり次第終了。**検討している方は志望校が決まった段階で、早めに申込みをしてください。
対象生徒	大学・短期大学・専門学校・各種学校（非認可校も可能）に進学予定の3年生
申請方法	申込書をホームページからダウンロードもしくは事務室で受け取る。応募書類を個人で奨学金団体へ郵送する。詳しい内容もこちらのURLでご確認ください（URL： https://www.yomiuri-jinzai.com/）
他の奨学金との併用	給付型・貸与型ともに併用可能

	笹川奨学金奨学生
種類	**給付型** 米国大学進学の場合は、年間$95,000を上限の目安として奨学金を支給。内訳は授業料・寮費（食費含む） ※大学より直接請求を受け支払う経費、定額の生活費等の支援もあり。 英国大学進学の場合は、年間￡65,000を上限の目安として奨学金を支給。そのうち大学毎に 必要とされる費用（授業料、寮費、保険料）については、必要とされる額を算出したうえで年間 ￡54,000を上限の目安として支給。 ※定額の生活等支援金もあり。 **支給期間** 米国大学の場合は大学卒業までの通算4年間、英国大学の場合は通算3年間。 （卒業時期は、入学年次から起算して5年以内を原則とする）
募集期間	**ホームページで応募** Ａ日程：応募受付：2023年12月21日～2024年1月11日17時 Ｂ日程：応募受付：2024年1月11日17時～2024年4月4日17時
対象生徒	①3学年に在籍する者 ②日本国籍を有し、在学期間中を通じて日本国籍を有する者 ③笹川平和財団の奨学金を、米国大学については4年間、英国大学については3年間にわたり受給することに合意した者 ④国内の他の給付型奨学金（総額100万円以上）を受給していない者。但し、国内外の返済義務のある奨学金、海外の給付型奨学金、奨学金に該当しない使途の支援金等（研究助成金、起業資金、行政による一時交付金等）との併給は可 ⑤笹川平和財団が指定する（別紙1参照）米国・英国の大学へ入学の許可を得た者で、2024年9月の入学を目指す者 ※受入れ機関からの受入れ許可は、採用決定後でも構いません。 ⑥本スカラシップ制度で実施する留学前研修及び留学生ネットワーク活動（卒業後を含む）に参加する者 ⑦当該留学に必要な査証を確実に取得し得る者 ⑧本スカラシップに応募する時点で未成年の場合は、保護者が留学を認める者
申請方法	ホームページから個人で応募。詳しい内容もこちらからご確認ください。 URL：　https://scholarship.spf.org/
備考	募集人数については最大40名程度
他の奨学金との併用	「対象生徒④」を参考

別紙1　笹川奨学金　2024年度入学　対象大学一覧表

米国大学　24校

Brown University
California Institute of Technology
Carnegie Mellon University
Columbia University
Cornell University
Dartmouth College
Duke University
Georgetown University
Harvard University
Johns Hopkins University
Massachusetts Institute of Technology
New York University
Northwestern University
Princeton University
Rice University
Stanford University
The University of Chicago
University of California, Berkeley
University of California, Los Angeles
University of Michigan, Ann Arbor
University of Pennsylvania
Vanderbilt University
Washington University in St. Louis
Yale University

リベラルアーツカレッジ（米国）　15校

Amherst College
Bowdoin College
Carleton College
Claremont McKenna College
Davidson College
Grinnell College
Hamilton College
Middlebury College
Pomona College
Smith College
Swarthmore College
Vassar College
Washington and Lee University
Wellesley College
Williams College

英国大学　4校

Imperial College London
University College London (UCL)
University of Cambridge
University of Oxford

※アメリカ・イギリス以外に所在する、大学のメインではないキャンパスは対象となりません。

	公益財団法人　キーエンス財団
種類	給付型：月額10万円（年額120万円） 給付期間：2024年4月～2028年3月（最短修業年限）
応募資格	以下のいずれにも該当する者 ①2024年4月に日本の大学に入学する者（4年制の学部・学科生に限る。ただし通信教育課程及び夜間学部生、並びに留学生を除く） ②2024年4月1日現在、20歳以下である者 ③経済的な支援を必要とする者
募集期間（予定）	一次選考　Web登録：2024年2月 1日（木）～4月 5日（金）午前10時 二次選考　書　類：2024年4月11日（木）～4月24日（水） Web登録：2024年4月11日（木）～4月24日（水）午前10時 URL　https://www.keyence-foundation.or.jp/
申請方法	一次選考（1）生徒本人が財団ホームページ上にて必要事項及び小論文を登録（入力）する。（応募は本人からに限ります。） （2）2024年4月11日（木）（予定）に選考結果（採否）の通知メールが送信されます。 二次選考　一次選考に通過した方のみ財団ホームページにて、所定の小論文など必要事項を登録する。
提出書類	※一次選考に通過した方のみ ①大学の学生証（写真付、A4の用紙にコピーしたもの） ②在籍大学の在学証明書（原本） ③卒業高校の調査書（原本、**開封無効**） ④世帯全員分の住民票の写し（原本） ⑤所得・課税証明書又は非課税証明書・住民税決定証明等の原本 ⑥健康保険証（家族全員分）（A4の用紙にコピーしたもの）
備考	募集人数：全国で600名程度
他の奨学金との併用	(併用とは、当財団の奨学金に加え、期間を一部でも重複して他の奨学金を受給すること) ①貸与奨学金：併用可 ②給付型奨学金：<u>併用不可</u>（ただし海外留学支援の奨学金は併用可） ③国の修学支援制度による授業料等減免：併用可 ④大学独自の制度のうち現金が給付されるのではなく、大学に納付する授業料が実際に減額または免除される制度：併用可

	令和5年度高校生等資格取得支援事業
種類	給付：資格取得のための経費の一部を支給 検定　支援金額　／　検定　支援金額 実用英語技能検定　1級　6,000円　／　実用英語技能検定　準1級　5,000円 日本漢字能力検定　1級　3,000円　／　日本漢字能力検定　準1級　3,000円 実用数学技能検定　1級　4,000円　／　実用数学技能検定　準1級　4,000円 応用情報技術者　4,000円　／　基本情報技術者　準1級　4,000円 日商簿記検定　1級　4,000円　／　日商簿記検定　2級　2,000円 第三種電気主任技術者　4,000円　／　第一種電気工事士　6,000円 危険物取扱者　甲種　3,000円　／　危険物取扱者　乙種4類　2,000円 技能検定2級　11,000円
募集期間	令和6年3月29日（金）までに兵庫県高等学校教育振興会に届いたもの（消印有効）
対象生徒	（1）高校生等奨学給付金受給者 （2）生活保護（生活扶助）受給世帯 （3）県及び市町村民税所得割非課税世帯
申請方法	申請書をホームページからダウンロードもしくは事務室で受け取り、個人で兵庫県高等学校教育振興会に提出 ＵＲＬ：https://pure.ne.jp/syougaku/shien2_shikaku.html
提出書類	申請者全員が必要（①～④） ①高校生等資格取得支援金申請書（様式1） ②「振込先口座の通帳またはキャッシュカード」の写し ③生徒証の写しまたは在学証明書 ④検定試験の受験票の写し 該当者のみ（⑤～⑩） ⑤高校生等奨学給付金支給決定通知書の写し ⑥生活保護受給証明書（「生活扶助」の記載があるもの）（写し可） ⑦課税証明書（親権者等全員分）等（「納税通知書」も可）（写し可） ⑧「健康保険証」（生徒本人分）の写し ⑨「母子家庭等医療費受給者証」（生徒本人分）等の写し ⑩扶養申立書（様式2）

	国の教育ローン
種類	貸与型 金利　年1.8%（令和4年5月2日現在） 上限３５０万円（子ども1人につき） 上限４５０万円（自宅外通学、修業年限５年以上の大学（昼間部）大学院、海外留学のいずれかの資金として利用される方）
募集期間	年中募集（必要時期の2～3ヵ月前が目安）
対象生徒	世帯年収が下記に該当する方 扶養する子供の人数　世帯年収　世帯所得 １人　790万円以内　600万円以内 ２人　890万円以内　690万円以内 ３人　990万円以内　790万円以内 ※上限を超える場合でも特例制度あり。
申請方法	ホームページにて応募　URL：https://www.jfc.go.jp もしくは個人で郵送。
備考	貸与者は生徒ではなく保護者です。 応募を考えている方は事務室にパンフレットを取りに来てください。 日本学生支援機構の入学時特別増額貸与奨学金は、「国の教育ローン」に申し込み低所得を理由に利用できなかった世帯の生徒に貸与します。